

なるほど! ICT

第7号

令和4年10月19日発行
ICT活用推進委員会

ICT 活用実践の紹介

今回は現在、試験導入中の学習支援アプリケーション「ロイロノートスクール」を活用した実践を紹介します。

■高等部1年 職業

高等部1年の職業では、卒業後の働く場を知り、今後の進路選択の参考にしたり、卒業生や利用者の働いている姿から、働くために必要な事柄に気付いたりすることをねらいにして、三つのグループに分かれて職場見学を行いました。

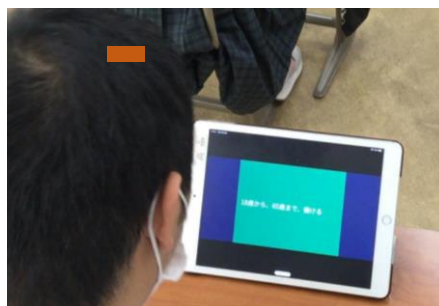
その中の一つのグループでは、書字能力の実態差などに対応するために、ロイロノートスクールで質問事項等を整理するワークシートを作成し、生徒一人一人のiPadに送信して提示しました。指で直接書き込む、画面上のキーボードを使って打ち込む、教師が用意したフラッシュカードを貼り付けるなど、自分に合った方法を選択してワークシートに書き込むことで、書字にかかる時間や労力が減り、質問事項を考える等の学習に集中して取り組むことができるようになりました。

実際の職場見学は感染症予防のため、「Zoomミーティング」を使用して、オンラインで実施しましたが、見学先の職員の方への質問の際も、あらかじめiPad上に書き込んだ質問事項を見ながら行いました。

学習のまとめでは、それぞれが質問を通して分かったことをワークシートに書き込み、画面を共有して見合うことで、個々の学びをグループの学びとして深めることができました。



Zoomミーティングを使用した職場見学時の質問の様子です。音声だけでは内容が伝わりにくかったため、質問者自身がiPadの画面を見せて文字情報も示しました。



友達の質問の回答を生徒一人一人のiPadに投影して、共有しました。



カード同士を矢印でつないで、連続したスライドにしています。直感的に操作できるロイロノートスクールの特徴です。

今回の実践では

- ・自分に合った学び方（今回は書字の方法）を選択することができる。
- ・個々の学び（考えや分かったこと等）を簡単に共有することができる。

という、ICTやロイロノートスクールの利点を生かした取組になりました。

< ICT活用実践シートの記入をお願いします! >

校内の実践を蓄積し、共有する目的で、今年度もICT実践事例集を作成します。そのためのICT活用実践シートの記入をよろしくお願いします。×切は11月8日（火）です。